

NPO 法人 ニューマン理論・研究・実践研究会

Newman Praxis Study Group

第1回 ニューマンプラクシス学習会

‘理論書に基づいて HEC 理論を深く理解しよう’

～ふたたび原点に戻って、Margaret A, Newman の生涯・理論の源泉・主要概念・プラクシス・リサーチの方法などの概要を理解しよう～

2019年6月2日(日) 武蔵野大学 6号館 6504教室

テキスト:Newman MA.(1994)./ 手島恵訳:マーガレット・ニューマン 看護論 拡張する意識としての健康, 医学書院, 1995.

副読本:Newman MA.(2008)./ 遠藤恵美子監訳:変容を生み出すナースの寄り添い; 看護が創りだすちがひ, 医学書院, 2009.

ねらい:各章ごとの講義とワークを通して、指導者の助言を受けながら、HEC 理論の意味を理解し、それを実践レベルと結び付けて考える。

10:00～10:05 (5分) 理事長挨拶

10:05～10:15 (10分) ジャーナルについて

10:15～11:55 (100分) 各章ごとの講義

- ・序 ニューマン先生と母親との体験、Martha Rogers のもとでの学び、ベントフの影響
- ・第6章 看護科学のためのパラダイム
- ・第1章 健康のパラダイム、統一体における統一的健康の過程
- ・第2章 第5章 全体のパターン、パターンの性質
- ・第3章 HEC 理論を支える理論

11:55～12:40 (45分) 昼食

12:40～13:40 (60分)

ワーク 上記で理解した内容を実践レベルとむすびつけながらグループで復習し学び合う。

13:40～13:50 (10分) 休憩

13:50～14:40 (50分) 各章ごとの講義

- ・付録 研究プロトコルの改定版、2008年本パターン認識の過程
- ・第4章 拡張する意識の開示

14:40～15:30 (50分)

ワーク:上記で理解した内容を実践レベルとむすびつけながらグループで復習し学び合う。

15:30～16:00 (30分) 質疑応答・対話— 全体の学びの共有

16:00～16:10 (10分) ジャーナルの記載、閉会、次回のお知らせ等

次回までの課題 : テキスト第7章を精読してくる、次回学習する構成要素の理解に必要な理論書のページを精読してくる(当日、該当ページを提示する)。

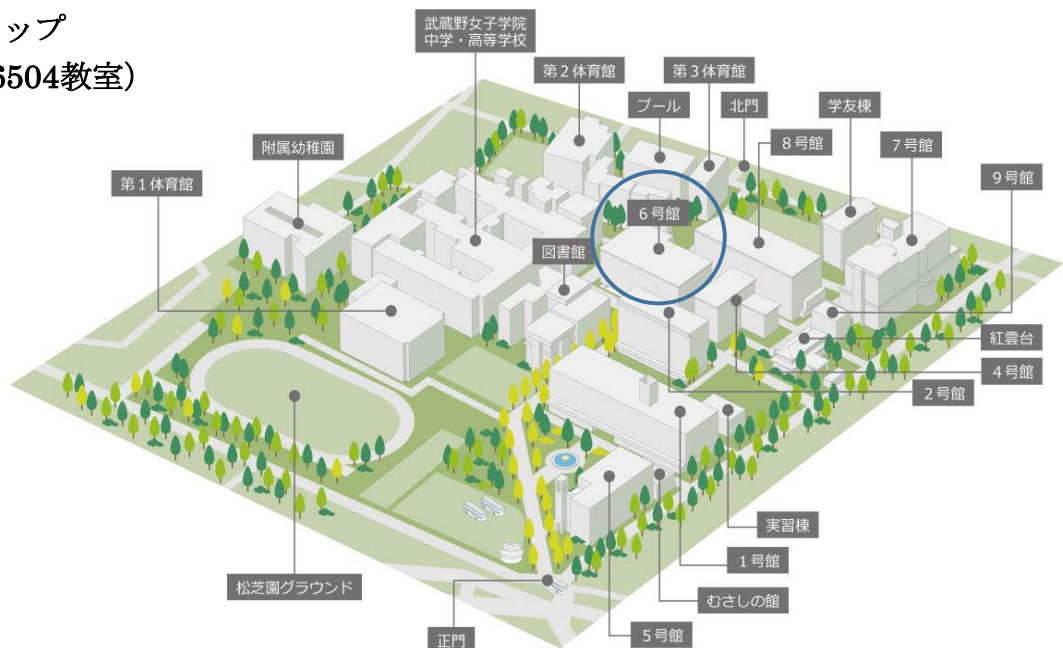
※今年度も3回連続の参加でより理解が深まります。可能な方は、ぜひ連続参加をお勧めします。また、参加された方には修了証を発行することが可能です。必要な方は、当日受付でお知らせください。

【参加者へのご案内】

- 会場までのアクセス <https://www.musashino-u.ac.jp/musashino/>
武蔵野大学 〒202-8585 西東京市新町1-1-20
会場にお越しの際は、公共交通機関をご利用ください。

○キャンパスマップ

(会場：6号館6504教室)



○申し込み方法

参加希望の方は、ホームページ上の「学習会ご案内」の申し込みフォームより

(<http://www.newmanpraxis.gr.jp/archive-study/>)、**5月23日(木)**までにお申し込みください。ご不明な点は、事務局 (hecoffice2016@yahoo.co.jp) までご連絡ください。

○参加費

会員 2500円、非会員 3000円、学生(大学院生を除く)1000円。

参加費は、当日会場でお支払ください。

○昼食について

- ・休日のため大学食堂は営業していません。近隣のコンビニエンスストアは店舗移動致しました。昼食は、ご持参の上、会場においていただく事をお勧めします。

○その他

- ・当日の会場にて、「NPO 法人ニューマン理論・研究・実践研究会」への入会受け付けさせていただきます。入会をご希望の方は、当日受付でお申し出ください。参加費を会員金額とさせていただきます。
- ・参加者には修了証を発行いたします。ご希望の方は、受付でお申し出ください。
- ・ご住所、ご所属先、Email アドレスの変更のある方は、事務局までご連絡ください。
- ・当日会場にて、2019年度 年会費のお支払いを受け付けております。